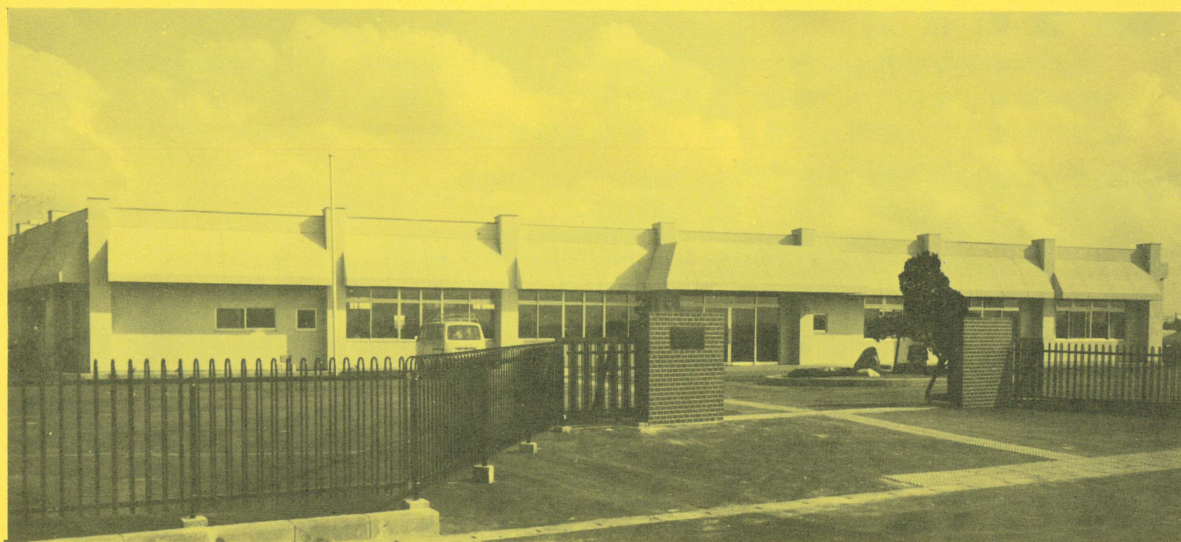


身体障害者療護施設

新潟みずほ園



近隣の方々有難う ボランティアの方々有難う
職員の方々有難う 沢山のみなさま有難う
多くの人たちと肉身の愛情とに支えられながら
希望を抱いて努力を続けましょう

理事長 小柳 胖

社会福祉法人 **新潟みずほ福祉会**

所在地 / 新潟市小見郷屋字下川原107番地2

電話 / 新潟 (0252) 62-0044

指 針

和を以て貴しと為す

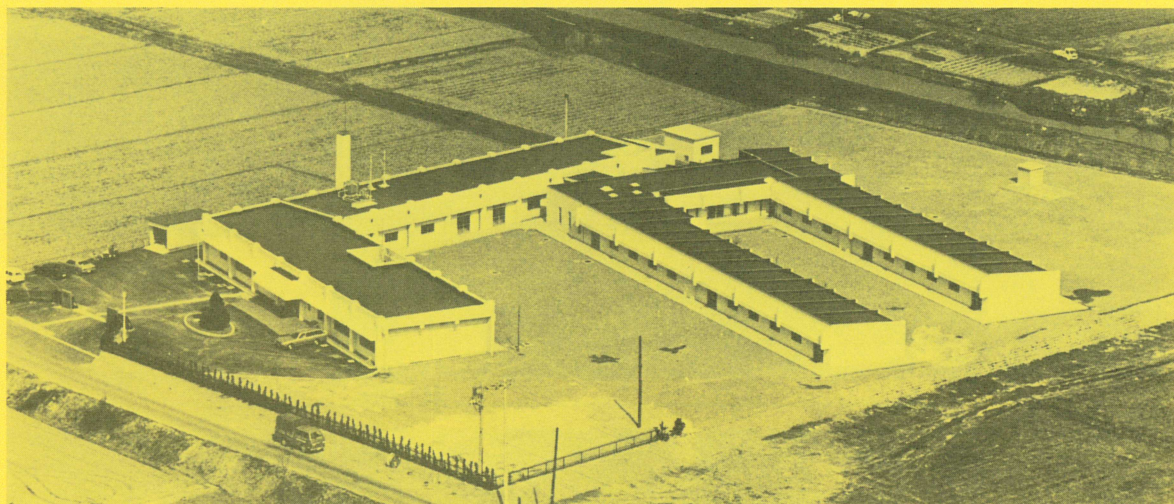
■新潟みずほ園とは

入所者と保護者とのつながりを重視するとともに、県民総参加の福祉を実現したいとの君県知事の基本構想により、ミニコロニーが県下各地にできることになりましたが、その最初の施設が重度身体障害者を収容する療護施設「新潟みずほ園」であります。

■施設の目的

重度の身体障害者を収容して、入所者の内に宿る生命力や、潜在する肉体的能力開発の訓練をおこないつつ、施設、保護者、ボランティア、地域社会が一体となった総親和総努力を通じて、感謝と反省によって総向上総幸福の生きがいのある生活を実現（生命福祉）することを目的とします。

みずほ園の全望



■開所年月日

昭和51年4月1日

■収容定員

重度身体障害者50名
男子25名 女子25名

■施設の規模

敷地面積 / 10,006㎡
施設 / 1,650㎡（鉄筋コンクリート平屋建耐火構造）
その他 / コミュニティセンター、和楽荘
157㎡（木造モルタル平屋建）

■職員（32名）

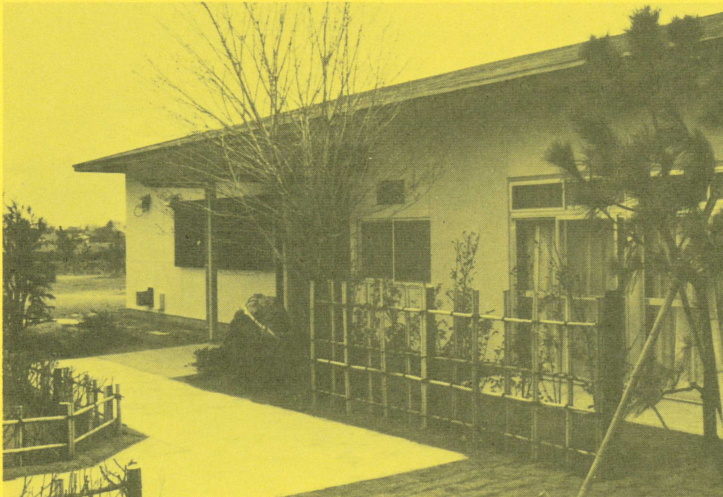
園長	事務員	指導員	マッサージ士	医師	看護婦	栄養士	寮母	調理員	庁務員
1	1	5	1	1	2	1	16	3	1

地域の人達とのふれ合い

福祉は
家族ぐるみ
地域ぐるみ
社会ぐるみ
の和である



▲バザー（地域との交換）



▲和楽荘（コミュニティセンター）



▲ボランティア活動（音楽）



▲旅行（家族と共に）

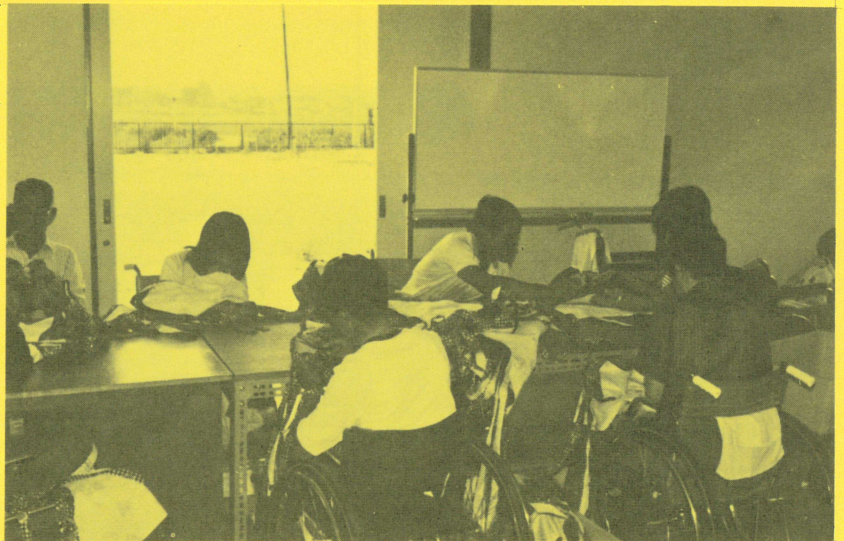
指導方針

あせるな！ いばるな！ まけるな！
くさるな！ おこるな！

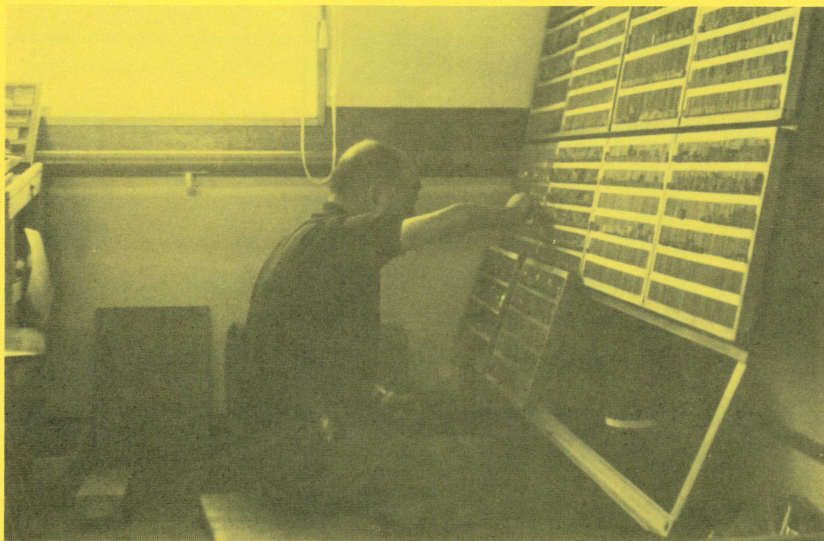
一日の日課

六三〇	八〇〇	九〇〇	十二四〇	十二四五	一三〇〇	(一三〇〇) (又は入浴)	四三〇	五〇〇	五三〇	九〇〇	十〇〇
起 床	洗面指導 着衣、排尿管、 朝食	集合 訓練開始	訓練終了	昼食	訓練開始		訓練終了	夕食	余暇	就寝準備	就寝消灯

社会自立を
目指して



▲縫製



▲印刷

今のひとときを
大切に

手指機能の 回復を目指して



▲スプーン作業



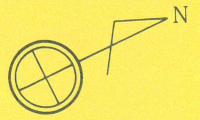
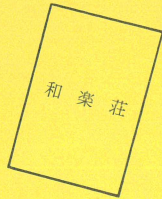
▲機能訓練

日常生活動作の 自立を目指して

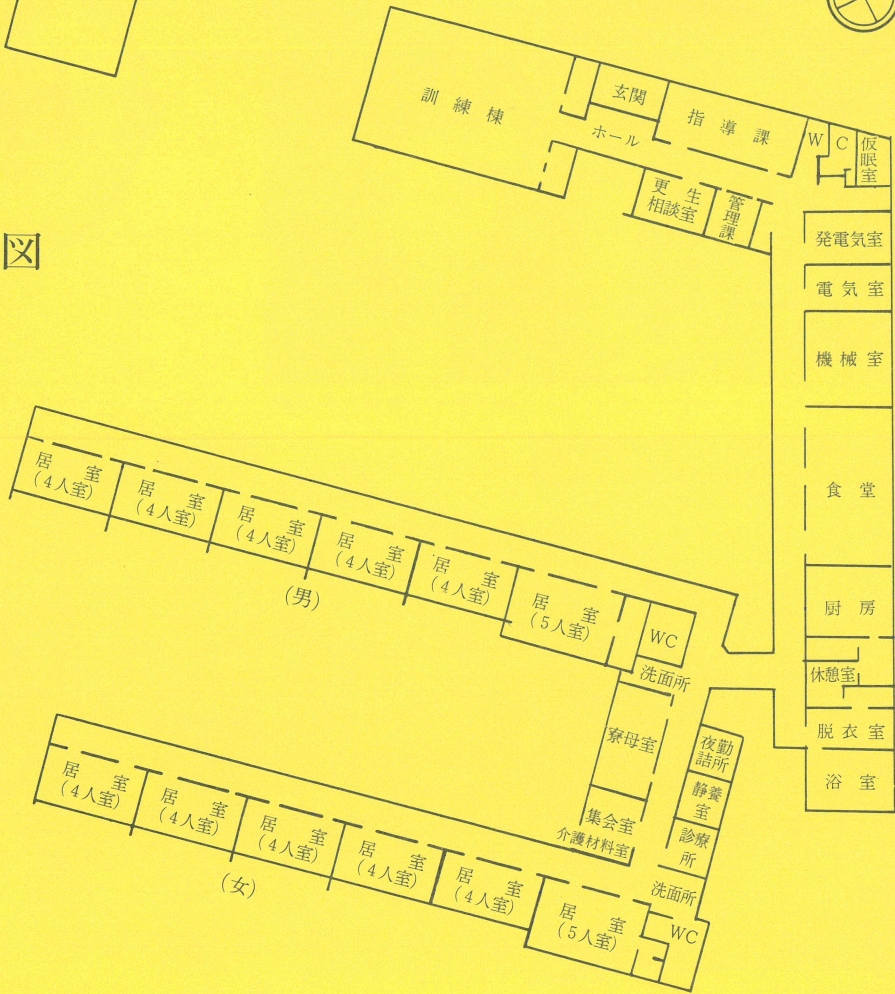
入所案内

- 入所期間 / 特に規定しません。
- 入所資格 / (1) 満18才以上（特別の場合には満15才以上）で身体障害者手帳を所持する者であること。
(2) 伝染性疾患及び精神的障害のないもの。
(3) 医学面の専門的治療を必要としないこと。
(4) 社会福祉事務所長が収容の措置を必要と認めた者。
- 入所者の負担金 / 福祉事務所の認定により、全額公費負担の場合と食費を自己負担する場合があります。
- 入所申込手続 / 最寄の町村住民課又は福祉事務所に申し込んでください。

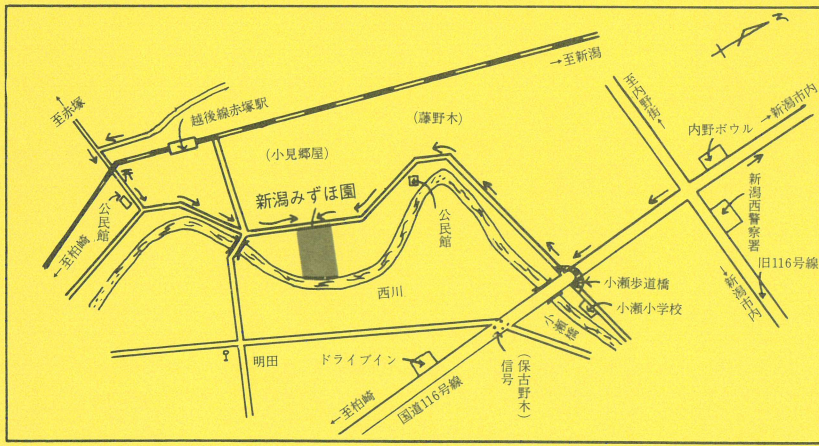
身体障害者療護施設
新潟みずほ園



平面図



案内図



- 《国鉄》越後線
越後赤塚駅下車徒歩15分
- 《バス》
新潟発曾根経由巻行バス
明田下車徒歩10分
- 《車》
新潟から116号線小瀬
歩道橋より右折2分